

## 断熱ソフトウォール施工仕様書

### (1).工程表

工程	製品名	塗装方法	塗布量 (kg/m <sup>2</sup> )	塗布 回数	塗装間隔時間 (23℃)	希釈材	希釈率
下地調整	・ゴミ、未硬化セメント粉末、砂塵、油脂分などの付着物をワイヤーブラシ、かわすき、サンドペーパー、ウエスなどで除去し、乾燥した清浄な面とする。						
1.下塗り	断熱ソフトウォール	多孔質ローラー	12～24m <sup>2</sup> /12kg 0.5～1.0kg/m <sup>2</sup>	1～3	16 時間以上 工程内 5 時間以上	清水	0～1.2L
		万能ガン 口径：4～6 mm 吹圧：0.6～0.7MPa	12～24m <sup>2</sup> /12kg 0.5～1.0kg/m <sup>2</sup>	1～3	16 時間以上 工程内 5 時間以上	清水	0.6～1.2L
2.中塗り 3.上塗り	アドグリーンコート®EXα 又は アドグリーンコート®GL	はけ ローラー（中毛） エアレス	0.15	各 1 回	3 時間以上	無希釈	

注）上記の数値は標準的なものです。素地の状態、気象条件、施工条件、施工方法により多少の幅を生じることがあります。

注）塗付量は刷毛又はローラー施工の場合で所要量の 8 0 ～ 9 0 %、吹き付け施工の場合で所要量の 6 0 ～ 7 0 %を目安にして下さい。

注）断熱性能は塗付量により異なります。一般の断熱材よりも厚みが薄いため簡易断熱となります。室内の断熱性を十分に確保する用途には向いていませんのでご注意ください。

注）吸込みのある下地には「GL専用プライマー防水用」を塗付してから施工して下さい。

厚塗りを行う場合は十分に乾燥させてから次の工程に移ってください。主材が未乾燥な状態で上塗りを施工すると膨れの原因になります。

### (2).材料荷姿

種類	材料名	荷姿	標準塗装面積
下塗り材	断熱ソフトウォール	12 kg/缶	12 m <sup>2</sup> ～24 m <sup>2</sup> /缶
上塗り材	アドグリーンコート®EXα又は GL	14 kg/缶	90 m <sup>2</sup> /缶

#### 使用上の注意事項

- 1）下地面は十分に乾燥させて下さい。
- 2）コンクリート面の突起物及びレイトンスは、グラインダーがけ又は皮すきなどで除去して下さい。
- 3）製品の練り混ぜは機械練り又は手練りとし、空練りを行った後、水を加え均一になるまで十分に練り混ぜて下さい。
- 4）練り混ぜの水の量は仕様書の指定内で、塗り厚や水引などを考慮し施工に適する軟度が得られるよう調整下さい。小分けは正確に計量器を用いて行って下さい。
- 5）標準施工仕様に記載の所要量及び間隔時間を守って施工して下さい。
- 6）材料は湿気や水掛かりに注意し、高温・直射日光下及び 5℃以下での保管は避けて下さい。
- 7）施工時は換気を十分行って下さい。
- 8）施工場所の気温が 5℃以下となる場合は施工を避けて下さい。

- 9) 降雨・結露・降雪又は強風の恐れがある場合は施工を避けて下さい。
- 10) 直射日光や風などで急激な乾燥が予想される場合は、シート養生を行うか、散水などの処理を講じて下さい。
- 11) 加水後の材料は可使時間内で使用して下さい。練り足し、水を加えての練り戻しは避けて下さい。
- 12) 白華した場合には水洗い等により除去してから次工程の作業を行って下さい。
- 13) 製品の取り扱いについての一般的な注意事項の詳細は SDS（製品データシート）を参照下さい。